

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス戸畑駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 24日 ～ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備	・昨年度、プレイルームを「勉強ゾーン」「机遊びゾーン」「身体を動かすゾーン」と3分割し、時間で活動できる場所を決めていた。しかし、利用者の状況を鑑みてスタッフ間で話し合いをおこない、環境整備を再度設定をおこなった。 ・毎朝、スタッフ全員で教室内の掃除をおこない、清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努めている。	・利用者の状況に合った環境整備をスタッフ間で常に検討していく。 ・引き続き、スタッフ全員で掃除をおこなう時間を設定していく。
2	保護者への丁寧な説明	・お迎えに来た際に、本日の様子とともに保護者が困っていること等ヒアリングをおこない、スタッフで共有した上で助言や支援をおこなっている。 ・アセスメントで来られた際にもヒアリングを実施している。	・トレーニングを受けている様子をお伝えするだけでなく、支援したことや支援方法等と一緒に共有できるようにしていく。
3	満足度	・利用者の少しの変化も共有できるように、毎朝朝礼時に利用者の共有もおこなっている。朝礼後に本日のトレーニングの打ち合わせをみんなでおこない、全スタッフが同じ支援や声掛けができるように共有をおこなっている。 ・毎週土曜日に、支援やサービスについての勉強会をおこない、支援力の向上に取り組んでいる。	・トレーニングの打ち合わせをおこなう際に、トレーニング内容の共有と共に、来所する利用者の個別支援計画と照らし合わせながら支援方法も共有していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムの固定化	・日々活動プログラムが固定しないように工夫しているが、その旨を保護者へ周知する方法がない。	・工夫している旨を周知する方法をスタッフ間で話し合い、随時実施に移していく。
2	非常時等の対応	・訓練等の予告は通信でおこなっていたが、実施報告に関してはおこなっていなかった。	・通信、掲示版等で訓練実施の報告をおこなうようにする。 ・お迎え等で来所した保護者については、その場で訓練内容を直接報告していく。
3	健康や発達の状態についての保護者とスタッフの共通理解	・送迎に来られる保護者との連携はできているが、利用者が自力で来所をしている子の保護者との連携が薄い。	・共通理解を図るために、アセスメントの頻度を増やす。 ・積極的に学校連携を行い、学校と連携した内容を保護者へ直接報告する機会を設ける。